

# 第3学年 音楽科学習指導案




令和6年10月21日5校時

第3学年1組36名

## 〈研究主題〉

めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成 ～キャリア教育を通して～

### 〈中学年の目標〉【第3学年の合言葉】

-  よいところを見つけよう
-  めあてを意しきしてふりかえろう
-  相手の気持ちをうけとって伝え合おう

### 1 題材名 「言葉あそびうたをつくろう」

～「あっちゃん あがつく たべものあいうえお」の詩を基にした言葉あそびうた～

### 2 題材の目標

- ・わらべうたで使われている音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴に気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。
- ・旋律、フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。
- ・旋律の音の動きやリズム、フレーズのつなげ方や重ね方を工夫して音楽をつくることに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、日本や世界のあそびうたに親しむ。

### 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①わらべうたの音やリズム、それらの組合せの特徴に気付き、即興的に短い旋律をつくる技能を身に付けている。(知識・技能) ②フレーズのつなげ方や重ね方の特徴に気付いている。(知識) ③思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。(技能)	①旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽づくりの発想を得ている。 ②呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	① 旋律の音の動きやリズム、フレーズのつなげ方や重ね方を工夫して言葉あそびうたをつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組む。

キャリアの目標（学習を通して自分がどのように変容したいかをイメージさせる。）

様々な表現を音で試したり聴き合ったりする活動に主体的・協働的に取り組み、お互いの考え方や感じ方のよさを見つける。



#### 4 題材設定の理由

##### (1) 教材観

本題材の学習指導要領との関連は、以下の通りである。

##### 【A表現：音楽づくり】

音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。

(イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くこと。

(ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴

(イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴

ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

(イ) 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能

##### 【本題材において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素】

ア ア 旋律、フレーズ

イ 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係

わらべうたの中の一つである言葉あそびうたは言葉そのものを楽しむ音楽であり、言葉のもつリズムや抑揚を基に2～3音で構成されているので、無理なく旋律をつくることができる。絵本「あっちゃんあがつく たべものあいうえお」の詩を基にした言葉あそびうたは子供たちにとって身近な食べ物のうたなので取り組みやすく、研究主題「めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成」に迫ることができると思う。

##### (2) 児童観

今年度より音楽専科が受けもっている。クラスの仲が良く、真面目にしっかり取り組む児童が多い。

1 学期には、リコーダーを使ってシの音で言葉のリズムをタンギングし、何と言ったか当てるクイズを通して、言葉のもつリズムの面白さに気付いた。さらに、わらべうた『いろはにこんぺいとう』の学習では、言葉のもつリズムや音の動きを基に旋律が生まれることに気づき、グループでそれらを生かし

て言葉に即興的に旋律をつけて歌うことができた。活動はスムーズであったが、お互いのつくったうたをよりよいものにしようとアドバイスし合う姿はあまり見ることができなかった。もっと子供同士がお互いのよさを見つけ合い、いろいろな表現を試す中でお互い成長することができるような授業改善が必要と考える。

### (3) 指導観（教師の願いと指導の工夫）

まず、わらべうた遊びや言葉遊びを楽しむ中で、わらべうたの旋律の響きに親しむ。そして、自分たちから生まれた表現を基に音楽を形づくっている要素とその働きに気づき、音楽の仕組みのよさや面白さを実感しながら、自分たちでつくったわらべうたの旋律をオリジナルの言葉あそびうたに構成する力を身に付ける。

『いろはにこんぺいとう』のときに行ったグループ活動では、グループの中で分担を決め、グループの中で聴き合って、お互いの良さに気付くまでの活動であった。

今回のグループ活動はさらに発展させ、つくったわらべうたを2つのグループでお互いに聴き合い、アドバイスをすることでよりよい表現を深める探究活動となっている。

このような活動を通して、めあてに向かって主体的に学び、考える力を育てたい。

## 5 キャリア教育の目標に迫るための手立て



### よいところを見つけよう

#### ① 意欲を引き出す音楽との出会い

「自分たちの言葉あそびうたをつくる」という課題について、児童の発想のよさを価値づけながら取り組むことで「できそう、やってみたい」という意欲を引き出す。

#### ② よさや面白さを伝え合う学習活動

表現の幅を広げるため、うたをつくったり聴き合ったりする活動の中で、お互いのよさや面白さを伝え合う機会を積み重ねる。

#### ③ 学んだことを実感し次の学びに生かす「振り返り」

毎時のねらいに即した設問による3択と記述形式の振り返りカードを活用し、児童が学びを通して自分の成長を実感できるようにする。また、振り返りを基に個やグループへの意図的・計画的な支援や評価につなげる。



### 相手の気持ちをうけとって伝え合おう


#### ① 考え方や感じ方を広げ深め合うグループ活動

言葉集めやフレーズのつなげ方や重ね方の例示などを基に様々な表現を音で試す場を設定し、知識を根拠に友達と共に表現の比較をすることで、気づきや考えを広げたり深めたりする。

#### ② 児童の考えを引き出し、思考をつなぐ教師の働きかけ

児童の気付きや考えを板書で可視化したり，表現の模倣や的確な価値付けでよさを共有したりすることで，知識の更新や考えの深化を促し，課題解決の糸口を見いだせるようにする。試行錯誤のツールとして，ホワイトボードとカードを用意した。

## 6 単元の指導計画

時	目標 ●キャリア教育の視点	○学習活動	評価の観点と方法 ●キャリア教育の視点
<p>&lt;第一次&gt; わらべうたの音やリズム、それらの組合せの特徴に気付き、即興的に短い旋律をつくる。</p>			
1	<p>設定した条件に基づいて、即興的に短い旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>●わらべうたの旋律の特徴について、そのよさや面白さなどに関わらせて気付く。</p>	<p>○既習のわらべうたで遊ぶ。</p> <p>○「あっちゃん あがつく ○○○○」の言葉遊びをする。</p> <p>○児童から出てきた言葉に即興的に旋律をつけて歌い、気付いたことや面白かったことを伝え合う。</p> <p>○自分の名前の頭文字を使って言葉を考え、即興的に旋律をつくって表現する。</p> <p>○学級全体で『あっちゃん あがつく』（あ行のうた）を即興的につくる。</p> <p>○次時の学習について知り、グループで行を選び、家庭学習として様々な言葉を集めることを確認する。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>【知技】言葉によって旋律のリズムや音の動きが変わることや、同じ言葉でも様々な旋律が生まれることに気付き、よさや面白さに関わらせて発言している。（発言）</p> <p>●わらべうたの旋律の特徴について、そのよさや面白さなどに関わらせて気付かせる。</p>
2	<p>旋律、フレーズの働きが生み出すよさや面白さを感じ取り、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。</p>	<p>○学級全体で『あっちゃん あがつく』（あ行のうた）を歌い、旋律やフレーズのよさや面白さを伝え合う。</p> <p>○グループごとに、『□ちゃん □がつく』の言葉を選び、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される児童の表現例】</p>  </div> <p>○呼びかけとこたえの仕組みを用いて□行の各フレーズをつなげて歌う。</p> <p>【例】(みんな) さっちゃん さがつく (一人) さくらんぼ</p> <p>○つくった歌を聴き合う。</p> <p>○本時の振り返りをし、次時の学習について見通しをもつ。</p>	<p>【思】言葉のもつリズムを効果的に生かしたり、わらべうたの音の動きを工夫したりして表現している。</p> <p>【態】わらべうたや言葉遊びを楽しむことによって、無理なく旋律づくりにつなげている。（発言・演奏聴取）</p>
<p>&lt;第二次&gt; フレーズをつなげたり重ねたりして、グループの言葉あそびうたを構成する。</p>			
3	<p>呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係の働きが生み出すよさや面白さを感じ取り、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●フレーズをつなげ方や重ね方の特徴について、そのよさや面白さに関わ</p>	<p>○学級全体でつくった『あっちゃん あがつく』様々なフレーズをつなげ方や重ね方で歌う。</p> <p>○フレーズをつなげ方や重ね方の特徴、よさや面白さについて伝え合う。</p> <p>○グループごとにフレーズをつなげ方や重ね方を試す。</p> <p>○いくつかのグループの表現を聴き合う。</p> <p>○本時の振り返りをし、次時の学習について見通しをもつ。</p>	<p>【知技】フレーズをつなげ方や重ね方の特徴を捉え、それぞれのよさや面白さについて発言している。（発言）</p> <p>【思】フレーズをつなげ方や重ね方を複数試し、よさや面白さを感じ取りながら音楽の仕組みを選んだり、工夫したりしている。（行動観察・発言・</p>

	らせて気付く。		記述) ●活動の途中でいくつかのグループを抽出して紹介し、よさや面白さを共有してグループの表現に生かせるように価値付ける。
4 本 時	呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる。 ●様々な表現を音で試す場面を通して、考え方や感じ方を広げ深め合う。	○思いや意図に合った表現になるように構成を確認したり、工夫したりする。 ○1回目と2回目の二つの場面のつなげ方や終わり方を考え、音楽をまとめる。 ○互いの言葉あそびうたを聴き合う。	【知技】思いや意図に合った表現するために必要な、呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。(発言・演奏聴取) ●ペアグループの演奏を聴くポイントを提示し、聴かせることで活発に意見交流ができるようにする。
＜第三次＞世界のあそびうたに親しむ。○材料や分量などを設定する。			
5	世界のあそびうたに親しむ。  題材の学習を振り返る。	○『フレールジャック』『チェチェコリ』などを聴き、気付いたことや感じたことを伝え合う。 ○遊び方を知り、音楽に合わせて遊ぶ。 ○日本のわらべうたとの共通点や相違点を伝え合い、よさや面白さを感じ取る。  ○ワークシートに題材の振り返りを記述し、全体で伝え合う。	【態】毎時間の学習の課題に沿って発言をしたり、様々な表現をすすんで試したりして、言葉あそびうたをつくる活動に取り組んでいる。(行動観察・発言・記述) ●題材を通しての考えや音楽表現の高まりを価値付け、学びの意義を実感できるようにする。

## 7 本時（4／5）

### （1）①本時のねらい

思いや意図に合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。

### ②キャリア教育の目標



キャリアの目標（学習を通して自分がどのように変容したいかをイメージさせる。）

グループのうたを聴き合い、お互いのよさや面白さを見つけ、自分の考えをもち、主体的にうたづくりに取り組む。

### （2）本時の展開

	●学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価基準 ★キャリア教育の目標に迫るための手だて
導入	<p>1 学習の課題をつかむ。</p> <p>●学級でつくった『あっちゃん あがつく』を様々なつなげ方や重ね方で歌う。</p> <p>●前時にグループでつくった歌を2グループずつで聴き合い、本時の課題を設定する。</p> <p>○「前回試したつなげ方や重ね方を聴き合って、グループの今日の課題を確認しましょう」</p> <p>・カノンとオスティナートを組み合わせたい。</p> <p>・終わり方を工夫して、音楽を仕上げたい。</p> <p>・みんなの歌がきこえるように声のバランスを考えたい。</p>	<p>★ペアグループの聴き合いのポイント</p> <p>① フレーズのつなげ方・重ね方</p> <p>② 1回目と2回目のつなげ方や終わり方を提示し、課題を明確にさせる。</p> <p>★特定の児童だけの活動にならないよう、1人1回は発言するよう助言する。</p> <p>・音楽のまとまり（1回目-2回目-終わり）を捉え、本活動に生かせるようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     おたがいのよいところを見つけ、自分たちのうたをつくりあげよう。                 </div>	
展開	<p>2 呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる。</p> <p>●思いや意図に合った表現になるように構成を確認したり、工夫したりする。</p> <p>●1回目と2回目のつなげ方や終わり方を考え、音楽をまとめる。</p> <p>・2回目→1回目の順にすると2回目の方が強くきこえるからこの順にしよう。</p> <p>・「いろはにこんぺいとう」のように、最後のフレーズは倍の長さにしよう。</p> <p>・第5フレーズをもう1回くり返してまとめよう。</p>	<p>★音楽の仕組みを図にしたカードをホワイトボードに貼り、お互いの考えを共有できるようにする。</p> <p>・拍を合わせることや、誰がどのタイミングで出るのか確認するよう助言する。</p> <p>・<b>1回目</b>（グループの歌をみんなで歌う）</p> <p><b>2回目</b>（グループごとに考えたつなげ方、重ね方で歌う）とし、1回目と2回目を入れ替えてもよいようにする。</p> <p>・終わり方の例を示し、選択できるようにする。</p> <p><b>そのまま</b> <b>くり返し</b> <b>おまけ</b>など</p>

	<p>3 各グループの作品を発表し、互いに聴き合う。</p> <p>○「ペアグループとの聴き合いのポイントに沿って、各グループの言葉あそびうたのよさや面白さを見つけながら聴きましょう」</p> <p>●最初に聴き合ったグループに対して、よりよくなったところを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目でオスティナートが重なったので、音楽がにぎやかになった。</li> <li>・最後にみんなでキメのかけ声を入れたので、さっきよりも終わった感じが出てよかった。</li> </ul>	<p>★音楽の仕組みを用いて音楽を構成することで、音楽がどのようによくなったかを伝え合うようにする。</p>
まとめ	<p>4 本時の振り返りをし、次時の学習について見通しをもつ。</p>	<p>★フレーズをつなげたり重ねたりしたことで第一次よりさらにグループの音楽が豊かになったことを価値付ける。</p> <p>◇思いや意図に合った表現するために必要な、呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。(演奏聴取、ワークシート)</p>

## 8 研究授業の視点

- ・お互いのよさを見つけるための工夫

聴き合いのポイントの提示・振り返りカードの使用は、お互いのよさを見つけ、うたづくり  
に主体的に取り組むことにつながったか。

- ・児童の考えを引き出し、思考をつなぐ教師の働きかけ

音楽の仕組みを図にしたカードをホワイトボードに貼り、お互いの考えを共有できるようにし  
たことは、グループの探究活動を活発にすることにつながったか。

## 9 成果と課題

<成果>

- ・「2グループで聴き合い、アドバイスを言う」活動の時間がしっかり確保されていたため、児童の「作品をよりよくしよう」という意識が高まっていた。
- ・音楽の仕組みを図にしたカードが話し合いに生かされていた。音楽の専門的な言葉が児童の言葉になっていたのもよかった。

<課題>

- ・ポイントが提示されていたことで、何を意識して聴けばよいかはわかっていた一方で、その内容が教師の期待しているものになってきたかは疑問だった。声の大きさや歌い方を評価する児童が多く、曲の内容について評価していた児童は限られていた様子だった。